

若手職員が活躍する事業現場の紹介

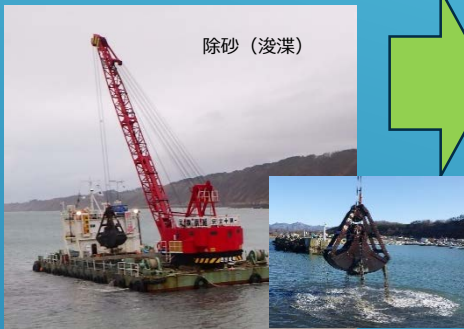


静内(-シブナイ-)漁港

事業の目的と効果

静内漁港は非常に流砂しやすい漁港であり、年間2回の除砂（浚渫－シユツツ－）を必要としている漁港である。当機能保全では漁業活動に支障のある航路、泊地の浚渫を行うことで航路及び泊地の必要水深の確保による漁業の円滑作業に貢献しています。

- ・事業名 静内漁港 機能保全工事
- ・箇所名 第1種漁港 静内漁港
北海道日高郡新ひだか町静内入船
- ・事業期間 平成27年～令和6年
- ・全体事業費 約7.0億円(内今年度約3,000万円)
- ・事業内容 航路、泊地浚渫V＝約280,000m³



除砂（浚渫）



水切り

今回は4,270m³掘れました。

私です！

苦労話

地元漁業活動との調整や、自衛隊や海岸管理者との協議など工事を円滑に進めるために各方面との調整に苦労しました。しかしながら皆さんが協力的だったこともあり、調整に滞りなく出来たことは良かったと思います。ただ工事を発注するだけでなく、周辺環境や地域住民の生活の妨げにならないように施工することを考えながら調整することが大変でしたが、滞りなく工事が終わった際は“やりきった”と安堵していました。

三石漁港から静内漁港までの短距離航行(えい航)



職場の紹介

私が所属する静内総合治水事務所は日高地方中部に位置しており、夏は涼しく冬は雪が少ない地域です。また、浦河町、苫小牧市まで1時間、札幌市まで高速道路使用で2時間程度で到着する、アクセスも良好でありとても住みやすい所です。

私が席を置く漁港係は主査1人と担当4人で漁港と海岸の整備及び維持事業を担当しており、漁港で主に行われる工事は港内の浚渫や修繕の必要と判断された構造物の補修工事、海岸はすでに設置されている防波堤の改良工事（高上－ガアガ－）や消波ブロックを製作して設置する工事等があります。

職場内の空気(?)も問題なく、どんなことでも話しかけやすい雰囲気、仕事上の小さな問題や分からないことをすらすらと聞けるところがいいです。

昨年1年間分からないことがあっても話しかけやすい雰囲気のおかげでいろいろと助かった場面も多々ありました。

担当する若手職員から一言

1年間業務に携わりまして、いろんなことを知ったり、いろんな失敗をしたり、沢山新しいことを学びました。いやなこと無かったかという嘘にはなりますけども、“辛い”だけでなく形に残る物を見たときに“やりきった”と思ひまして、漁港工事ひいては土木工事の魅力というのを感じてたのではないかと思います。これを見ている方々にはそういう所に“やりがい”や“達成感”を感じながら働いていただきたいと思います。そして頑張ったご褒美に各々プライベートでやりたいことをするといいと思います。私はそうしました。

作成者
2年目・技師
寺嶋 東生



プライベートの数々

休暇中は、旅行に行ってます。また、職場内行事にも参加しています。こうして仕事の疲れを癒してます。

11月に東京都・メッツライフドーム



12月に愛知県・ナゴヤドーム



秋葉原～！！



管内野球大会～



アイスホッケー



NO IMAGE